

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-14660(P2007-14660A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-201171(P2005-201171)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、  
該主制御手段からの指令情報に基づいて被制御機器を制御する従制御手段と、  
外部電源と接続されて前記各制御手段に電源を供給する電源装置とを備え、  
外部電源から供給される電源が遮断されたとしても、前記主制御手段の主側情報記憶手段、及び前記従制御手段の従側情報記憶手段のそれぞれに記憶された情報を保持するようにした遊技機において、

電源供給の状況を監視し、前記各制御手段が機能する上で必要な電源が供給されなくなると判別した場合に前記主制御手段へ第 1 電源情報を出力する電源監視手段を設け、

前記主制御手段は、前記第 1 電源情報の入力に基づき、遊技の進行を停止すると共に、前記従制御手段に第 2 電源情報を出力する電断時処理実行手段を備え、

さらに前記従制御手段は、前記第 2 電源情報の入力に基づき、前記被制御機器に対する制御を停止する従側電断時処理実行手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記主制御手段は、前記指令情報を一方向通信によって前記従制御手段に出力することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記電源監視手段から第 1 電源情報を入力した後において、前記主制御手段は、前記従制御手段に出力する最後の情報として前記第 2 電源情報を出力することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記主制御手段は、複数の処理を所定順序で繰り返し実行することで遊技の進行を制御し、

前記電断時処理実行手段による処理を実行するか否かの判別を、前記複数の処理に対して予め設定されたタイミングで行う判別処理実行手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記従制御手段は、複数の従側処理を所定順序で繰り返し実行することで前記被制御機器を制御し、

前記従側電断時処理実行手段による処理を実行するか否かの判別を、前記複数の従側処理に対して予め設定されたタイミングで行う従側判別処理実行手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記主制御手段が主制御基板に設けられ、前記従制御手段が従制御基板に設けられた構成において、前記指令情報を伝送するために両制御基板間を接続する信号線とは別に、前記第 2 電源情報を伝送するために両制御基板間を接続する信号線を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記被制御機器は遊技媒体の払出を行う払出装置であって、前記従制御手段は前記指令情報に基づいて払出装置を制御することで遊技媒体の払出を制御し、

さらに該従制御手段は、

前記主制御手段から出力される払出指令情報に基づいて前記払出装置による遊技媒体の払出を実行可能とする第 1 設定手段と、

遊技機の復電時において前記主制御手段から特定指令情報を入力するまで前記払出装置による遊技媒体の払出を実行不能とする第 2 設定手段とを備えたことを特徴とする請求項 6 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記主制御手段は、前記第 1 電源情報を入力した場合、該第 1 電源情報を入力した旨を表す特定電源情報を他の処理に割り込んで前記主側情報記憶手段に記憶する主側記憶処理実行手段と、

前記主側情報記憶手段に前記特定電源情報が記憶されているか否かを判別することにより、前記電断時処理実行手段による処理を実行するか否かの判別を行う判別処理実行手段とを備え、

さらに、前記従制御手段は、前記第 2 電源情報を入力した場合、該第 2 電源情報を入力した旨を表す従側特定電源情報を他の従側処理に割り込んで前記従側情報記憶手段に記憶する従側記憶処理実行手段と、

前記従側情報記憶手段に前記従側特定電源情報が記憶されているか否かを判別することにより、前記従側電断時処理実行手段による処理を実行するか否かの判別を行う従側判別処理実行手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 9】

遊技の進行を制御する主制御手段と、

該主制御手段から一方向通信によって出力される払出指令情報に基づいて、遊技媒体を払い出すための払出装置を制御する払出制御手段と、

外部電源と接続されて前記各制御手段に電源を供給する電源装置とを備え、

外部電源から供給される電源が遮断されたとしても、前記主制御手段の主側情報記憶手段、及び前記払出制御手段の払出側情報記憶手段のそれぞれに記憶された情報を保持するようにした遊技機において、

電源供給の状況を監視し、前記各制御手段が機能する上で必要な電源が供給されなくなると判別した場合に前記主制御手段へ第 1 電源情報を出力する電源監視手段を設け、

前記主制御手段は、前記第 1 電源情報の入力に基づき、遊技の進行を停止すると共に、前記払出制御手段に第 2 電源情報を出力する電断時処理実行手段を備え、

さらに前記払出制御手段は、前記第 2 電源情報の入力に基づき、前記払出装置に対する制御を停止する払出側電断時処理実行手段を備えたことを特徴とする遊技機。